



市内で発見された 主な特定外来生物

市内でも、哺乳類や植物などさまざまな特定外来生物が発見されています。

その一部を、特徴や識別ポイント、生態系や人間に及ぼす影響などと合わせて紹介します。

※外来種写真集（環境省）を加工して作成しています。

カミツキガメ

特 目

種類 爬虫類
原産地 北アメリカ～南アメリカ
形態 甲羅の長さは最大約50cm
影響 魚類、カエル、小型のカメ類などさまざまなものを食べることによる生態系への影響や、人に危害を加える

識別ポイント

- ・大型で四肢が強靱。
- ・頭部が大きく、お尻側の甲羅がギザギザ



アライグマ

特 目



識別ポイント

- ・眼の周囲に黒いマスク模様がはっきりある
- ・尻尾に、しま模様がある

種類 哺乳類
原産地 北アメリカ～中央アメリカ
形態 頭胴長40～60cm、尾長20～40cm
影響 希少な生き物を食べることによる生態系への影響や、農作物への被害、人へ感染症を媒介する危険性がある

特 特定外来生物

条 条件付き特定外来生物（6月1日規制開始）

日 日本の侵略的外来種ワースト100

日本の侵略的外来種の中で、特に生態系や人間活動に大きな影響を及ぼすもの

世 世界の侵略的外来種ワースト100

世界の侵略的外来種の中で、特に生態系や人間活動に大きな影響を及ぼすもの

セアカゴケグモ

特 目

種類 節足動物（クモ類）
原産地 オーストラリア
形態 雌の体長は約7mm～10mm、雄の体長は約4～5mm
影響 雌は毒性が強く、咬まれると発熱、皮膚の壊死など重症化する場合も



識別ポイント 黒色の体で、大きな球状の腹部に目立った赤色の模様がある

アカミミガメ

条 目 世

種類 爬虫類
原産地 北アメリカ
形態 甲羅の長さは最大約30cm
影響 幅広い水生生物を食べたり、一度に多くの卵を産むため、在来カメ類との競合により生態系に被害を及ぼす

識別ポイント

- ・眼の後ろに赤い模様がある
- ・頭部から尾にかけて、全身に細く黄色い縦線がある
- ・成長したオスは、身体の色がくすんで茶褐色になる



アメリカザリガニ

条 目



種類 節足動物（甲殻類）
原産地 北アメリカ
形態 体長最大約15cm
影響 水草や水生昆虫などを食べるため、池の生態系が壊れ水が濁る。田んぼのあぜに穴を掘って壊す

識別ポイント

- ・赤い体と大きなはさみが特徴
- ・幼体の頃は褐色

オオキンケイギク

特 目

種類 植物（キク科）
原産地 北アメリカ
形態 高さ30～70cm
影響 繁殖力が強く、大きな群落を作ることがあり、在来種の植物を減らすなど生態系に影響を及ぼす



識別ポイント

- 5～7月頃に中心部まで黄色の花を咲かせる

～「オオキンケイギク」の駆除方法～

- ステップ1 根元から株ごと引き抜く
多年草なので、根が残るとまた生えてきます
- ステップ2 袋に入れて枯らす
種子や根を落とさないように袋を密閉して、その場で数日間天日にさらして枯らす
- ステップ3 可燃ごみとして出す

ナガエツルノゲイトウ

特



種類 植物（ヒユ科）
原産地 南アメリカ
形態 茎の長さは1m以上
影響 長期間の乾燥にも耐えることから、水面だけでなく、川岸や畑でも生育する。草刈りで生じた破片からも再生し、生育地を広げる。

識別ポイント

水辺の湿った環境に生える多年草。茎の断面が空洞でストロー状になっている

広告

広告